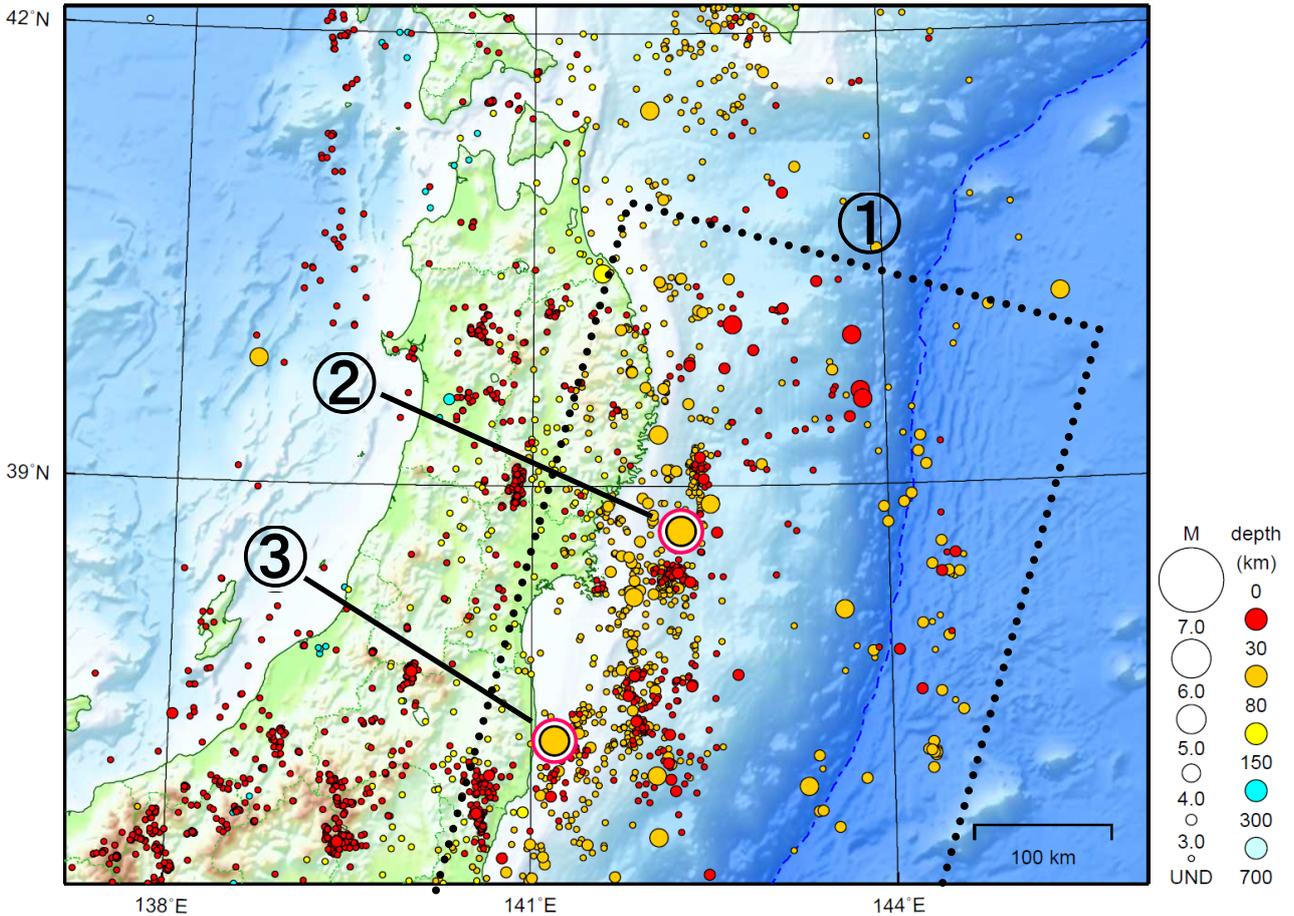


東北地方

2015/10/01 00:00 ~ 2015/10/31 24:00

N=2767



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

① 10 月中に、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域内では M5.0 以上の地震が 2 回発生した（関東・中部地方も参照）。また、最大震度 4 以上を観測する地震が 1 回発生した。

以下の②③の地震活動は、東北地方太平洋沖地震の余震域内で発生した。

② 10 月 6 日に宮城県沖で M5.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

③ 10 月 21 日に福島県沖で M5.3 の地震（最大震度 4）が発生した。

（上記期間外）

・ 11 月 1 日に青森県東方沖で M5.2 の地震（最大震度 3）が発生した。

情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕である。

〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2015 年 10 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は 2 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震は 1 回発生した。

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は次第に少なくなってきたものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な地震活動が継続している。

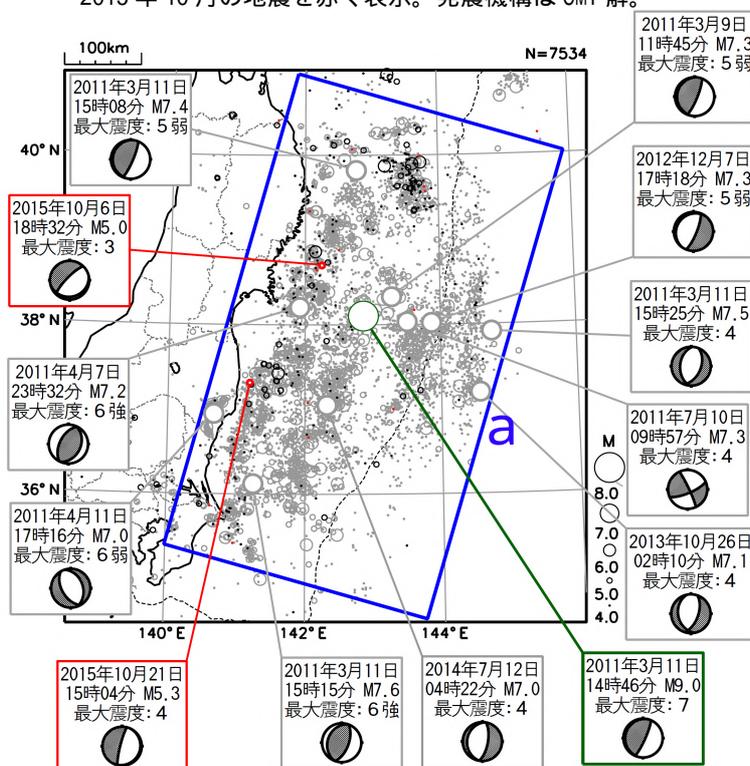
領域 a で 2015 年 10 月に発生した M5.0 以上の地震は以下のとおり。

2015 年 10 月に領域 a 内で発生した M5.0 以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT 解）
10月06日 18時32分	宮城県沖	5.0	5.0	3	北西 - 南東方向に張力軸を持つ正断層型
10月21日 15時04分	福島県沖	5.3	5.3	4	西北西 - 東南東方向に張力軸を持つ正断層型

震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2015 年 10 月 31 日、深さすべて、M 4.0）
 2011 年 3 月からの地震を薄く、2014 年 10 月から 2015 年 9 月の地震を濃く、
 2015 年 10 月の地震を赤く表示。発震機構は CMT 解。



領域 a 内の M7.0 以上の地震と
 2015 年 10 月に発生した M5.0
 以上の地震に吹き出しをつけた。



10月6日 宮城県沖の地震

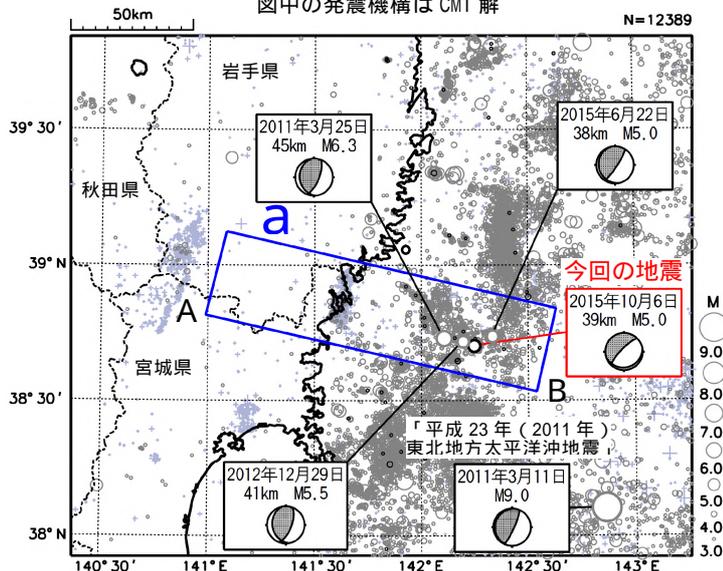
震央分布図

(1997年10月1日~2015年10月31日、
深さ0~100km、M 3.0)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い

2015年10月の地震を濃い で表示

図中の発震機構はCMT解

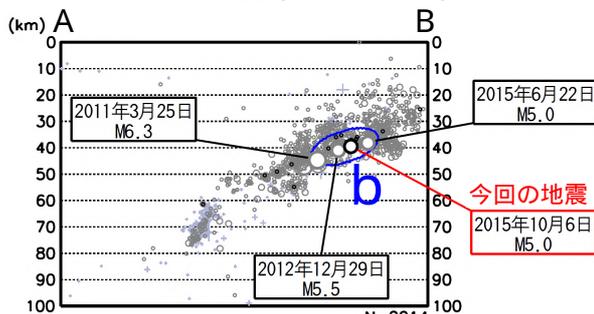


2015年10月6日18時32分に宮城県沖の深さ39kmでM5.0の地震 (最大震度3) が発生した。発震機構 (CMT解) は北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型である。この地震の発生以降、ほぼ同じ場所で震度1以上を観測する地震が同日中に3回発生した。

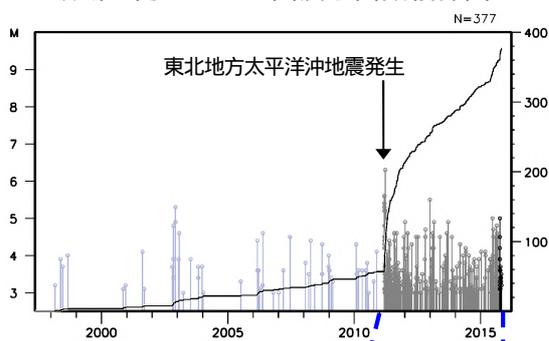
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が時々発生していたが、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生後は地震活動が活発化し、M5.0前後の地震が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域c) では「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生以前からM7.0を超える地震が時々発生している。

領域a内の断面図 (A-B投影)



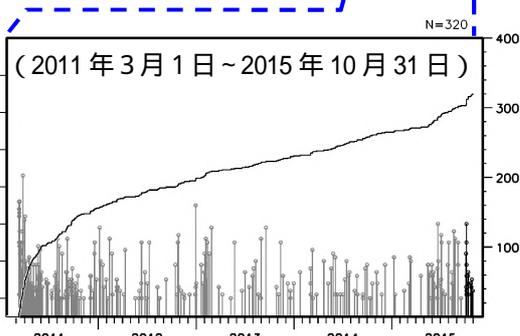
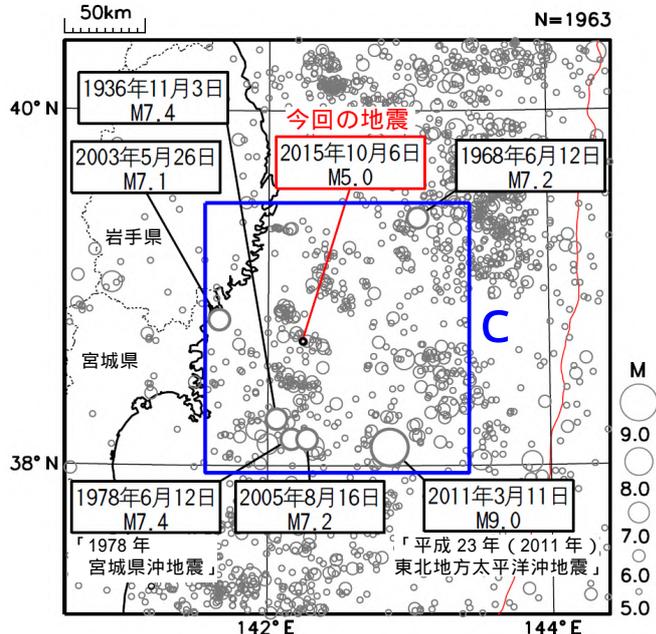
領域b内のM-T図及び回数積算図



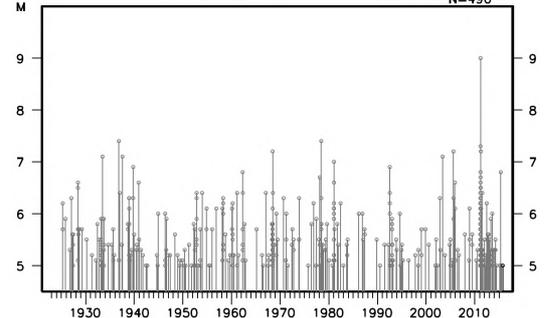
震央分布図

(1923年1月1日~2015年10月31日、
深さ0~100km、M 5.0)

2015年10月の地震を濃く表示



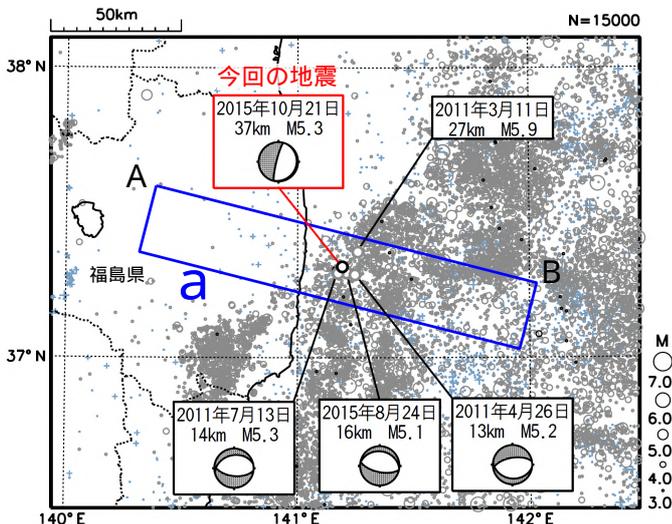
領域c内のM-T図



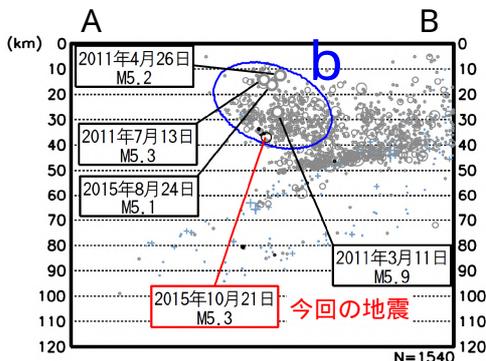
10月21日 福島県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年10月31日、
深さ0～120km、M 3.0)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い
2015年10月の地震を濃い で表示
図中の発震機構はCMT解

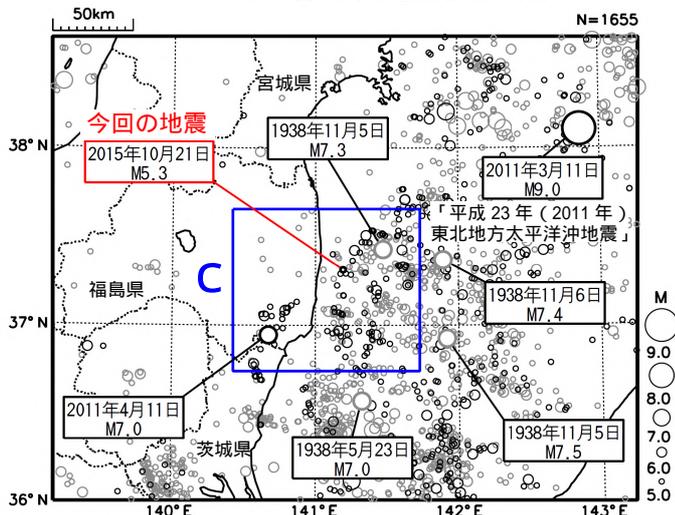


領域a内の断面図 (A - B 投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2015年10月31日、
深さ0～120km、M 5.0)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示

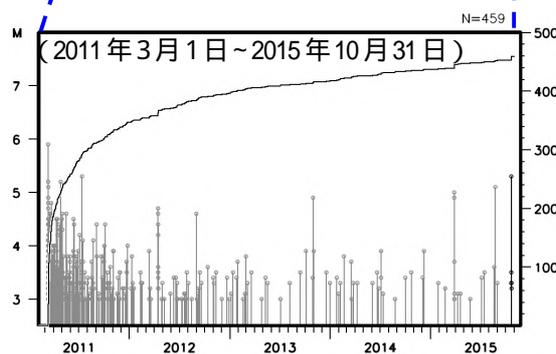
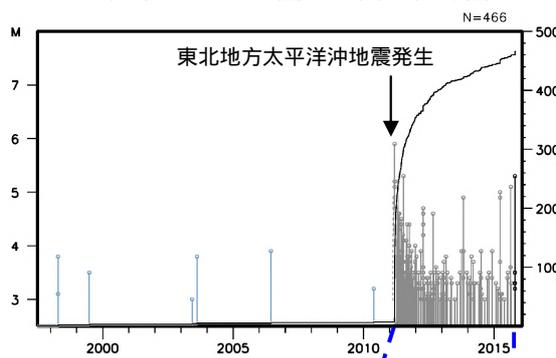


2015年10月21日15時04分に福島県沖の深さ37kmでM5.3の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレート内で発生した地震である。この地震の発生以降、ほぼ同じ場所で震度1以上を観測する地震が翌日22日までの間に3回発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震は発生していなかったが、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、M5.0前後の地震が発生するなど、地震活動が活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生している。2011年4月11日にM7.0の地震(最大震度6弱)が発生し、死者4人、負傷者10人の被害が生じた(総務省消防庁による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

